



沼津交響楽団

Numazu Symphony Orchestra

第41回定期演奏会



指揮 松川 智哉

©Shigeto IMURA

ハープ独奏 有馬 律子※

ドビュッシー／神聖な舞曲と世俗的な舞曲※

ストラヴィンスキー／バレエ組曲『火の鳥』(1919年版)

シベリウス／交響曲第5番

【協賛】沼響友の会

【後援】沼津市/沼津市教育委員会/(公財)沼津市振興公社/
(公社)日本アマチュアオーケストラ連盟/静岡新聞社・静岡放送

2025年
5月11日(日)

開場 12:45

開演 13:30

13:00ウェルカムコンサート

沼津市民文化センター

大ホール

入場料 1,000円

(全席自由)

チケット販売

●沼津市民文化センターチケット
コーナー ☎055-933-2059

●沼津交響楽団団員及び事務局
問い合わせ

●沼津交響楽団事務局(田中)

☎ 080-6262-4530

mail: numakyo01@gmail.com

◇会場の駐車場には限りがございます。

◇未就学児のご来場はご遠慮ください。

HP



Facebook



指揮 松川 智哉



©Shigeo IMURA

東京藝術大学音楽学部指揮科卒業、同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程修了。在学中、野村学芸財団奨学生に推薦される。
2019～2021年、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員。
2022～2024年、セントラル愛知交響楽団アソシエイトコンダクター。
これまで、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、芸大フィルハーモニア管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、富士山静岡交響楽団、セントラル愛知交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団他と共演。
指揮を尾高志明、高関健、川本統脩の各氏に、作曲・音楽理論を久行敏彦氏にそれぞれ師事。
現在、オーケストラ、吹奏楽、合唱の指揮者として幅広く活動する他、オペラの分野でも精力的に活動しており、これまでに佐渡裕プロデュースオペラ、びわ湖ホールプロデュースオペラ、東京・春・音楽祭、ニッセイオペラ、藤沢市民オペラなどの各公演にて副指揮者を務める。
愛知県立芸術大学非常勤講師。

ハープ 有馬 律子



東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学卒業。チェコ国立ブルノフィルアカデミー修了。
04、06年第16、18回日本ハープコンクールジュニア部門第2位受賞。
08年第20回日本ハープコンクールアドヴァンス部門第2位受賞。
10年第2回ハンガリー国際ハープコンクール21歳以下の部第3位受賞。
15年第27回日本ハープコンクールプロフェッショナル部門第1位受賞。
藝大卒業時、同声会賞受賞。同声会新人演奏会に出演。
14年藝大モーニングコンサートにてロドリゴ作曲アランフェス協奏曲を芸大フィルハーモニアと共演。
21年愛知室内オーケストラと共演。
10年CD「翔く若手ハーピスト2010」に参加。
17年CD「Contemplation～瞑想～旋律を紡ぐハープの音色～」を発売。
今までにハープを迫本宣子、早川りさこ、木村茉莉、ヤナ ボウシュコヴァの各氏に師事。
現在フリーの演奏家として活動中。

沼津交響楽団



沼津交響楽団は1984年に結成された沼津で唯一の市民オーケストラです。楽団の活動目的は設立当初より「音楽に親しみ、団員相互の親睦をはかり、芸術としての音楽の実現を目指し、地域の音楽文化の普及・向上に寄与する」と一筋で地域の皆様と共に歩んでまいりました。年1回の定期演奏会をはじめファミリーコンサート・オペラなどの特別演奏会を行っています。特に、ファミリーコンサートを通して、子供から大人まで気軽にオーケストラに親しんでもらう多くの皆様に喜ばれることは、団員の何よりの財産です。沼津のオーケストラ活動はアマチュアリズムです。アマチュアリズムとは、「営利を目的とせず純粋に愛好すること」です。それ故団員は、それぞれ本業の仕事をしつつ、個人練習を積み重ね、その成果を週1回の合奏練習で確認し、音楽トレーニングを常日頃研鑽し、毎回の演奏会に臨み地域を代表する音楽団体へと成長を遂げてきました。いままでもこれからも沼津交響楽団は、皆様と一緒に感動を共有してまいります。

ドビュッシー 神聖な舞曲と世俗的な舞曲

ハープを愛したフランス印象派の作曲家ドビュッシーが、ハープと弦楽合奏のために作曲した名曲です。古代ギリシャの雰囲気漂う荘重で神秘的な神聖な舞曲と、優雅で親しみやすい生き生きとした世俗的な舞曲の二つの対照的な舞曲。ハープと弦楽器の美しい調和が聴きものです。

ストラヴィンスキー バレエ組曲『火の鳥』 (1919年版)

20世紀ロシアの作曲家ストラヴィンスキー初期の傑作です。魔王カッチェイに囚われた王女に恋した王子。二人の危機を黄金のリングを食べに來た伝説の火の鳥が救うという、古いロシア民話に基づいた物語です。魔法とファンタジーに満ちた世界をストラヴィンスキーは色彩豊かで華麗な音の世界で描きます。「火の鳥」の音楽は、東京ディズニーランドのスターライト・マジックのフィナーレにも使用されました。

シベリウス 交響曲第5番 変ホ長調 作品82

7曲の交響曲を残した20世紀フィンランドの国民的作曲家シベリウス。交響曲第5番はシベリウス生誕50年記念コンサートで演奏された交響曲です。祝祭的な華やかさの中に、牧歌的な香りと北欧の雄大な大自然を歌い上げた傑作です。フィナーレでは夕焼けの空を、16羽の白鳥が大きな円を描きながら飛び去っていく姿が描かれます。



【駐車場に関するお知らせ】

会場の駐車場には限りがございます。小ホールや体育館の催事が重なると大変混雑しますので、駅周辺のコインパーキングもご利用ください。

※左図は独自調査による徒歩15分以内のおすすめ駐車場を表示しています